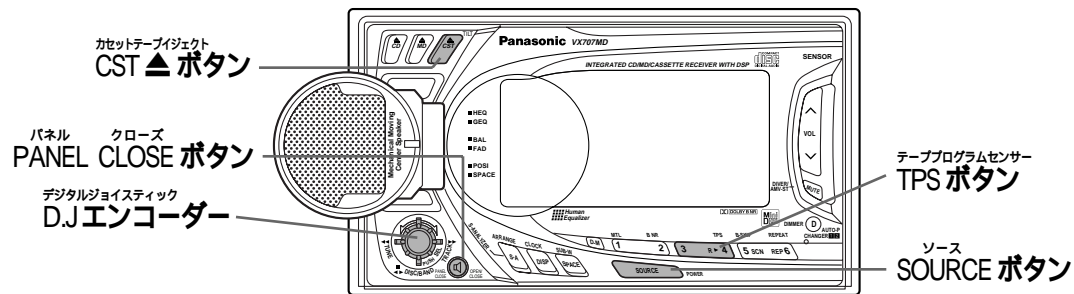
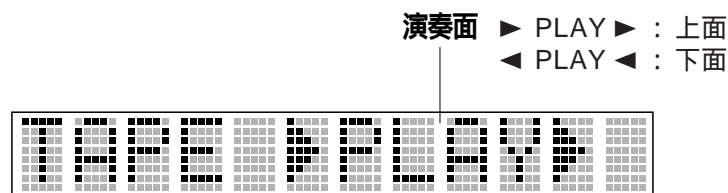


カセットテープを聴く VX707のみ



カセットテープ (TAPE) の通常表示

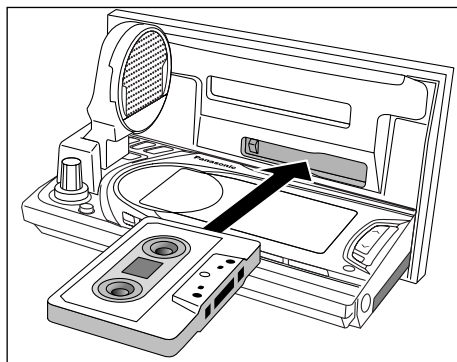


お知らせ
文字表示部は、時計表示に切り替えることができます。(P.31 参照)

カセットテープを挿入する

- ① 操作パネルの CST ▲ ボタンを押す。
● 操作パネルが開きます。
(カセットテープが挿入されているときは、イジェクトされます。)
- ② テープ面を右側にして、カセットテープを挿入口に差し込む。
● カセットテープの再生が始まります。
● 操作パネルが約10秒後に自動的に全閉し、最後に角度調整した位置まで戻ります。

操作パネルをすぐに閉めたいときは、操作パネルの PANEL CLOSE ボタンを1秒以上押してください。



お願い
操作パネルを押さえた状態で操作したり、開いた操作パネルの上に物を置いたりしないでください。

⚠ 注意



可動部に手・指や異物を入れない

可動部に手・指や異物を入れると、けがや故障の原因になります。

サウンドソースをカセットテープ (TAPE) にする

SOURCE ボタンを押して、“TAPE” に切り替える。



- カセットテープの再生が始まります。

お知らせ

カセットテープが挿入されていないときは、TAPEモードに切り替わりません。

演奏面を切り替える

D.J エンコーダーを下に倒して、◀▶ (PRG) を押す。

- 押すごとに、カセットテープの演奏面が次のように切り替わります。

▶ PLAY ▶ (上面) ◀ PLAY ◀ (下面)

- テープの終端になると、自動的に演奏面を切り替えて再生します。オートリバースシステム



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

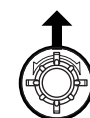
巻戻し / 早送りをする

D.J エンコーダーを左右に倒して、TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押す。



- ◀◀ (TRACK ◀◀) : 巻戻しする (REW)。テープの先頭になると自動的に再生が始まります。
- ▶▶ (TRACK ▶▶) : 早送りする (FF)。テープの終端になると自動的に演奏面が切り替わり、再生が始まります。

巻き戻し / 早送りを解除したいときは、D.J エンコーダーを上倒して ■ を押します。



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

聴きたい曲を頭出しする

TPS

TPS (Tape Program Sensor : テープ プログラム センサー) を “ON” にしておくと、曲間の無音部分を検出して、曲の頭出しができます。
[初期設定 : OFF]

- ① 操作パネルの TPS ボタンを押して、センサーを “ON” にする。

- ボタンを押すごとに、TPSが “ON/OFF” します。



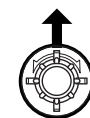
- ② D.J エンコーダーを左右に倒して TRACK ◀◀ または TRACK ▶▶ を押し、選曲する。

- ◀◀ (TRACK ◀◀) : テープを巻戻して、現在再生している曲の頭へ戻る。押すごとに、前の曲を頭出しする。(最大8曲まで)
● 押した回数分、曲が前に戻ります。



- ▶▶ (TRACK ▶▶) : テープを早送りして、次の曲を頭出しする。(最大9曲まで)
● 押した回数分、曲を次に送ります。

巻き戻し / 早送りを解除したいときは、D.J エンコーダーを上倒して ■ を押します。



* リモコンでは PRG/■ ボタンを押します。

お知らせ

- 次のような場合、TPSが正常にはたらかないことがあります。故障ではありません。
● カセットテープの曲間の無音部分が4秒未満のとき。
● 曲中に特にレベルの低いところや無音部分があるとき。
● 巻き戻し / 早送りや曲の頭出しは、D.J エンコーダーを回して操作できます。(P.51参照)